



『まえだとし女 全句』

まえだとし女

きりもなく水に圧さるる布袋草
花水木九百メートル続きけり
ざりがにやケースもあげるからと言ふ

朝方と比べて若く祭髪
ベビーカー可の整骨院夏木立
スカイツリーを日々目測の露台かな
筍飯煮含めるのと素のままと
父の日のお砂場セットを持つ手かな
夏芝やきのふは養生中とあり
スケボーでボール蹴る児や愛鳥日
父の^{公園}日をおちやらかほいと低音で
夏^{停留所}シヤツの兄達と父乳母車
初夏のざらついてみしガラス石
停電や折しも樹には夏蜜柑

『まえだとし女 全句』

